

今回は、石井十次少年団の活動をご紹介します!!

『石井十次少年団』とは、公益財団法人石井十次顕彰会と社会教育課が主体となり設立された団体で、2025（令和7年）10月に発足し、2026（令和8年）現在、年長6歳～小学1年・2年・3年・4年生までの団員14名で構成されています。

【活動目的と内容】

『石井十次少年団』は、石井十次児童劇を通じてその功績や生き方を学ぶと共に、郷土の偉人や地域の歴史・文化・自然について児童と保護者が共に体験活動を通して学ぶことにより、地域への誇りと愛着を育み、子供たちは自らの成長に自信を持ち、将来地域を支える人財として成長することを目指しています。



*みんなで台本の確認をし



*真剣に台本の読み合わせをして



*プロの先生から演技指導を受けます。



昨年は、西都原考古物博物館での【歴史・文化・自然】を楽しく学ぶ体験学習もしました。



*石井十次顕彰の集いでの児童劇は、多くの来場者からの拍手をいただいて『大成功』となりました！みなさんも石井十次少年団で活躍しませんか！

団員は随時募集中です。

詳しくは社会教育課まで！

ひだか まさのり
日高正則
議員**薄暮や夜間において、歩行者の交通事故防止に反射材用品やLEDライトの活用について
本町所有のマイクロバス運用について**

問①どのような啓発活動を行っているのか。
問②町としての対策を考えているか。
問③運転手の報酬について。



答①タスキやリストバンド型の反射材、タスキ等に取付け可能な電池式の小型ライト、靴やバック等への反射シールなどを通年配布している。

答②日常生活の中で活用しやすい反射材用品の導入について検討していく。

答③令和8年度から、日給1万408円、週35時間勤務の任用へと見直しをした。

もり ひろみち
森弘道
議員**竹鳩橋掛け替えについて**

(要望)

今後、詳細設計、用地買収、橋梁建設へと進んでいくことになるが、今の世界情勢・日本の経済状況を鑑みると、解決の見えない中東情勢の影響で、ナフサを原料とする石油製品が品薄となる中、イラン、イスラエル等のミサイル発射などきな臭い話も報道される最悪の状況の下で、竹鳩橋架替事業が採択になってしまったと私は思っている。

時期があまりにも悪すぎるんじゃないかと懸念している。二、三年待てないかと質問してきたが、日本経済がある程度安定するまでの間、やはり待つべきであったと思っている。できれば事業期間の先延ばしとか延長をして、もし中止できるなら、今のところ中止していたほうが一番良いのじゃないかと感じている。

はるなり いさむ
春成勇
議員**めいりんの湯の経緯について**

問①めいりんの湯が閉館となったが、その影響と今後の対策について。

答①高鍋めいりんの湯は、第3セクターにて平成13年5月1日にオープンした。初年度は27万人の入浴客数を数えたが、その後、経営は厳しい状況にあった。平成31年1月にメモリードに経営権を譲渡し、多大な赤字と借金を引き受けていただき施設を無償譲渡し、完全民営化による再出発となった。その後、すぐに新型コロナウィルスの拡大により、入湯客が大幅に減少し、経営環境の悪化、また源泉ポンプの故障があり湯量が減少したため、令和8年5月31日をもって閉館となった。今後の施設の有効活用については、メモリードと協議をしている。

かとう ひでふみ
加藤秀文
議員**高鍋駅の利便性を高める手立てについて**

問①跨線橋をスロープ化する改修計画はどこまで進んでいるのか。
問②乗降客の電子決済・交通系ICカード化は考えていないのか。
問③駅前の高鍋町を紹介する看板の変更はどうか。
問④町民が車で避難する場合、地区ごとのルートづくりは考えているのか。



答①現時点で具体的な計画時期を示す段階ではないが、JR九州とのバリアフリー化実現に向けた協議を継続し、実現に向け強く取り組む。
答②バリアフリー化の協議を進める中で併せて協議をしたい。
答③予算の状況を踏まえつつ適正に対応したいと考えている。
答④ルート設定には地域の皆様が主体となった合意形成が必要不可欠。

おがた なおき
緒方直樹
議員**地域商社について**

問①ふるさと納税の目標額は。
問②竹鳩橋に寄付を充当するのか。
問③紙媒体の広報誌を置いている施設数は。
問④めいりんの湯閉館の理由は。



答①1年目は10億円、2年目以降は本年度の寄附額を上回る目標額を設定する。
答②ふるさと作り基金からの繰入金金を充当する計画は現時点ではない。
答③町内37か所の施設であり、4施設は数を考慮し100部を設置、その他施設は20部を設置している。
答④温泉施設の必要な湯量の確保が困難な状況と経費の増加、来客数及び売上げが減少し経営状況が厳しいこと。また湯量の回復工事を実施しても十分な湯量が確保できるかは不透明であることから判断し閉館となった。

もりさき ひであき
森崎英明
議員**高鍋町の農業の維持について**

問①現状の農業情勢をどのように受け取っているのか。

答①農業情勢について、全国的な課題である担い手不足と高齢化、中東情勢に伴う肥料、飼料等の資材高騰、温暖化や天候不順の影響による収量減など、農業を取りまく環境は依然として厳しさを増していると認識している。本町の農業を次世代へ確実に引継ぎ持続可能な農業にしていくためには、稼げる農業の推進と担い手の確保が急務と考える。町としても、物価高騰対策は喫緊の課題と捉えており今議会の補正予算において、中東情勢に伴う農業資材、肥料、飼料等の価格高騰の影響を受けている農畜産業を支援するため、農業経営者を対象に一律10万円を支給する農畜産物物価高騰対策支援事業を計上した。



あなたの声を町政に

QRコードを
チェック
登録姿が
見られます。12名
が
登壇1日目の
ポイント2日目の
ポイントながとも よしかず
永友良和
議員**少子化対策と今後の取り組みについて**

問①本町の出生者数の推移は。
問②出生率を上げるための少子化対策会議等の実施は。
問③本町の子育て支援策及び今後の取り組みは。



答①令和4年は121人に対し、令和7年は96人まで減少してきている。
答②ワークショップや企業とのヒアリング等の対策会議や調査を実施している。
答③高校生までの医療費や中学校給食費、第2子の保育料の無償化及び妊産婦検診費用や不妊治療に対する助成を実施。今後は出産、子育てに関する事業の他、若者の定住率向上や男性の育児参加率向上に向けた取り組みなどが必要と考え、そのことに対する検討を進めていきたい。

かしはら とみこ
榎原富子
議員**地域交通と介護体制の充実について**

問①高齢者の移動支援として、ライドシェア導入の可能性や今後の地域交通の在り方をどのように考えているのか。
問②介護人材不足の実態と、高齢化が進む中での介護事業所の経営難についてどのように考えているのか。



答①本町ではデマンド交通を運行しており、現時点で交通空白地は存在しないと認識している。ライドシェアについては、安全性の確保や既存交通事業者との役割分担など課題が多く、現時点で導入予定はないが、国の制度動向や他自治体の先進事例を注視しながら研究していく。
答②介護人材不足は深刻で、人材不足を理由とした訪問介護事業所の休止も発生している。今後、高齢化の進行により地域包括ケアシステムへの影響も懸念されることから、関係機関と連携しながら人材確保や在宅介護支援の充実を図り、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに努める。

こだま ひでと
兒玉秀人
議員**子育て支援と教育環境について**

問①全年齢で所得に関係なく保育料の完全無償化はできないか。
問②昨年度まで行っていた、おむつ負担軽減事業はできないか。
問③教育環境の整備について今後どのような方針で行っていくのか。



答①実施に向けて、検討をしている。
答②保育料の無償化をはじめとした他の支援事業の動向をふまえつつ、事業の実施の可否について、今後検討していく。
答③学校統合の方針、あるいは校舎改修の方向性、計画性が策定されたら、計画的に整備を行っていく。現在、在籍している児童生徒の教育に支障がある場合、あるいは予測される場合には、緊急性、優先順位を考慮しながら、これまで同様、確実に対応していく。

まつおか のぶひろ
松岡信博
議員**町長の説明責任について**

問①行政の説明責任と透明性は。
問②地方自治法の執行機関の責任とは。
問③竹鳩橋建設予算が可決される前になぜ住民説明会をしなかったのか。
問④4月11日の住民説明会は何のために。
問⑤説明会で町民の理解を得たのか。
問⑥町民が主権者、納得するまでの説明は。



答①行政運営において最も重要と認識。
答②誠実・適切に各事業に取り組んでいる。
答③説明会に来られる方は町民の1%にも満たない数、一部のみに偏重してしまう。
答④議会の要望どおり説明した。
答⑤説明会は説明であって、了承を得たということはない。
答⑥議会の承認こそが町民の総意と執る。
※町長は説明責任の意味が分かっていない。

なかむら すえこ
中村末子
議員**道路などの管理、自転車関係法令について
町長の施政方針、農業者育成などについて**

問①町道には草が生えていたり、穴ぼこがあり危険と思われる個所も沢山ある。
また国道わきや県道などでも同様の部分がある。この問題についての考え方は。
問②自転車道整備がないまま、法令だけが先行しているが、自転車道建設の予定は。
問③自転車の乗り方を含め法令関係を学校教育の中でどう指導しているのか。



答①予算を取り順次改善していく。
また国道県道などについても、国、県へ要望していきます。
答②現在自転車道整備計画はない。
答③時間を作りながら、生徒に教える方向。

はし しげふみ
橋重文
議員**犯罪増加に対する対策の必要性について**

問①人口10万人当たりの犯罪の認知件数である犯罪率が令和7年県内一高いのは高鍋町となっているが、犯罪増加に対する対策は。
問②防犯カメラ、街路灯、ホイッスルといった設備面と地域の人の目を組み合わせた多層的な防犯体制を構築できないか。



答①本町においても、見守り活動や鍵かけ運動など様々な手段を用いて、防犯対策に取り組んでいくことが必要である。
答②地域の方々の協力をもらい、防犯灯の推進や青パトの運用、鍵かけ運動の実施、情報発信、学校での教育などに努め、防犯カメラ等有効な設備の導入についても検討を重ね、高鍋町の防犯体制の拡充を図ってまいりたい。

令和8年 第2回定例会 可否表

（○賛成 ×反対 一欠席） ※議長は採決に加わりません

件名		1	2	3	5	6	7	8	10	11	12	13	14	15	16
		日高	森崎	橋	春成	兒玉	中村	永友	森	加藤	榎原	松岡	緒方	田中	古川
同意 1	高鍋町農業委員会委員の任命について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

以下の議案は、全員賛成で同意・可決されました。

議案 24	専決処分の承認を求めることについて（専決第3号） [高鍋町税条例の一部改正について]	議案 26	損害賠償の額を定めることについて
議案 25	専決処分の承認を求めることについて（専決第4号） [高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について]	議案 27	高鍋町RVパークの設置及び管理に関する条例の一部改正について
同意 2	高鍋町農業委員会委員の任命について	議案 28	高鍋町国民健康保険税条例の一部改正について
同意 3	高鍋町農業委員会委員の任命について	議案 29	高鍋町印鑑条例の一部改正について
同意 4	高鍋町農業委員会委員の任命について	議案 30	令和8年度高鍋町一般会計補正予算（第1号）
同意 5	高鍋町農業委員会委員の任命について	議案 31	令和8年度高鍋町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
同意 6	高鍋町農業委員会委員の任命について	議案 32	令和8年度高鍋町介護保険特別会計補正予算（第1号）
同意 7	高鍋町農業委員会委員の任命について	議案 33	小型動力ポンプ付積載車の購入について
		議案 34	令和8年度高鍋町一般会計補正予算（第2号）

第2回定例会に、傍聴にこられた方の中で、高鍋農業高校3年生にアンケートをお願いしました。
《傍聴者13名》

○今回参加したことについてどう思いましたか。

とても良かった……………（4）良かった……………（6）
どちらでもない……………（0）あまりよくなかった（0）
良くなかった……………（1）

○これからも議会の傍聴をしてみたいと思いますか。

ぜひまたしてみたい（1）機会があったらしてみたい（8）
どちらともいえない（1）してみたいとは思わない（1）
○議会を傍聴して、町議会議員と町長・町職員とのやりとりはわかりやすかったですか。

非常にわかりやすかった（1）わかりやすかった（2）
どちらともいえない……………（3）わかりにくかった（3）
非常にわかりにくかった（2）

○町政や町議会への関心や理解は深まりましたか。

とても深まった……………（1）深まった……………（7）
どちらでもない……………（1）あまり深まらなかった（1）
深まらなかった……………（1）

○議員になって高鍋町のために何かしたいと思いますか。

ぜひ議員になって何かをしたいと思った……………（1）
議員になってみたいと思った……………（1）
なりたいたとは思わない……………（5）
絶対なりたくない……………（2）わからない……………（2）

○18歳になったら選挙に行こうと思いますか。

ぜひ行きたい……………（8）行ってみたいと思う（3）
分らない……………（0）行きたくない……………（0）

○議会を傍聴して、どのような感想をもちましたか。

※町長の回答がもっとスマートにできると思った。人口減少を課題にしているのであれば、もっと住民を大切にするような政策を取った方がいいと思う。

※議会を始めて傍聴して、議会の仕組みなどがわかり、とても面白かったです。

※高鍋町がどういった課題をもっているのか、どういった解決策を話し合われているのかよく分かった。

※想像していた以上に質問と話の内容が合っていない、話の内容の意図が分からなかった。町長が質問の意見を理解せず紙だけを見て話している。

今回は、フードリボンを紹介します。



フードリボン（フードリボンプロジェクト）とは、



飲食店を利用するお客さんが「先払い」で購入したリボン（1つ300円）を店内に掲示し、お腹を空かせた子どもたちがそのリボンと引き換えに無料で1食分の食事をとれる、地域の善意を循環させる新しいこども食堂の仕組みです。

日常的な居場所づくり： 特定の日時や場所で開催されることが多いこども食堂に対し、飲食店の営業時間内であれば日常的に利用できるのが大きな特徴です。

対象年齢

中学生以下の子どもが対象です。

シズカ
カレーカフェ 静

☎ 0983-28-9009
不定休 場所：JR九州高鍋駅前

QRコードで議会の様子が見られます。

定例会初日の様子
QRコード



定例会最終日の様子
QRコード



広報委員会

委員長	兒玉	秀人
副委員長	榎原	子明
委員	森崎	富英
委員	橋	重弘
委員	森	道文
委員	加藤	秀